

富士河口湖町立 教育センターだより

No. 5



平成25年6月10日 文責 高尾久美子

町単・期採等職員研修会の実施

毎年行っている「町単・組合単・期採・代替職員研修会」を5月16日(火)・31日(金)・6月7日(金)と3回実施しました。

第1回目には、町校長会より小立小学校校長の渡辺一男先生より激励の言葉をいただきました。

また、講師として富士東部教育事務所より主幹・指導主事の赤澤守夫先生、河口湖北中学校より渡辺一徳先生、西浜中学校より坂本裕司先生に来ていただきました。

昨今の教育問題や教職員の心構え、現場の実践につながる問題解決等、役に立つお話を伺うことができました。また、2回目の学習会では、若い先生方の体験談を聞き、これからのように取り組んでいったらいいのか自分なりのスタイルを考えることができました。



トントン・サクサク木の名人

センターの事業の一つに「地域を生かした体験学習のプログラム化」があり、学習指導に役立つ体験プログラムを作成します。そして、各学校から希望を取り、実施できるように進めていきます。「トントンサクサク木の名人」もその一つです。これは、教育課程にある小学校3年生の図工です。木を切ったり、削ったり、色をつけたりします。野鳥の森公園には、自然のものを利用した材料や作品がたくさんあります。そこでは園長の古谷和雄さんが指導してくださり、センター職員が支援にあたります。

5月17日(金)には、小立小学校3年生(50名)が利用しました。今年度になって初めてです。この日は、バードコールを作りました。取り付け金具を回し音が鳴ると、どの子もうれしそうでした。

「本物の鳥の鳴き声みたいだ。」

「この音でたくさん鳥が集まるかも。」

と言いながら、外で鳴らしている子もいました。

最後には、色をつけて自分だけの作品に仕上げ満足な笑顔でした。

この他に1学期に1校、2学期に4校の予定が入っています。また、バードコールの他に木の実や枝や丸太などを利用した壁掛けや置物を作ることができます。

どんな作品ができるのか楽しみです。ちなみに私の家にもここで作った作品があります。もう何年もドアの壁掛けとして活躍しています。

